

もちつきで 祖父母と交流

12月14日、年末恒例の「もちつき」祖父母交流会が、城田保育園で行われました。

年中・年長児（27人）とその祖父母（28人）が、杵と臼でもちをつきました。園児らは、おじいちゃんたちと一緒に杵を持ち、周りのみんなの声援に後押しされながら力強くつきました。つきあがったもちは、おばあちゃんたちに教えてもらいながら丸め、「あんこもち」や「きな粉もち」にしました。

できたてのもちを参加したみんなと一緒に食べ、楽しい一日となりました。



高菜漬を特産品に

森の里加工グループ（野田和子代表）が、神埼町小淵の「水車の里」で活動を始め、九年庵公開に合わせて、おでん・高菜めし・花や柿などを販売、高菜の油炒めの人気投票も行いました。

本格的な活動は、高菜を漬け込む4月から。高菜など地域特産品の栽培・加工・販売を行います。
グループでは、活動にご協力いただける方を募集しています。



詳しくは、野田さんまで（☎59-2643）



干し柿づくり

▲脊振町鹿路

今月の花・木



「山茶花」は、花の無い時期に咲く貴重な耐寒性常緑高木で、花の色は、桃色、赤、白などがあります。山茶花と椿は、花が似ていますが、葉の形や花の散り方で見分けることができます。山茶花も椿と同様に、実がなり、油が採取されます。



冬の花壇を飾る「葉牡丹」は、葉はキャベツにそっくりで、「花キャベツ」という別名もあります。色鮮やかな葉が幾重にも重なる姿が、牡丹の花のようであることから、この名前で流通するようになりました。春には黄色い花が咲きます。